

- 「成果報告交流会」を迎えて
- 「いまを駆ける」(活動団体紹介)
- Future From Fukushima
～中・長期的な復興・被災者支援の継続を目指して～
- チャレンジ助成金情報
- 「NPO経営基礎講座&相談会」実施の案内
- お役立ち情報 権限委譲市町のご紹介
- 「サインペン」プレゼント

「成果報告交流会」を迎えて 福島県文化振興課

～ふるさと・きずな維持・再生支援事業～

今年度福島県では、内閣府の「NPO等の運営力強化を通じた復興支援事業交付金」を活用して、東日本大震災及びそれに引き続く原子力災害からの復興等に向け復興支援や被災者支援等を行う特定非営利活動法人等（以下「NPO法人等」という。）による取組を支援することにより、高い運営力を有するNPO法人等を育成し、持続的な復興や被災者の支援活動を促進するため、「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」を実施しています。

「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」の実施に当たっては、NPO法人等による自立的かつ継続的な復興・被災者支援が可能となるよう、人材育成やネットワークの形成等による復興を担う中核的なNPO法人等の育成に重点を置いた取組を支援しています。

県内外で被災者・避難者の交流サポート、子どものケア、地域活性化、産業振興、文化・スポーツ振興等

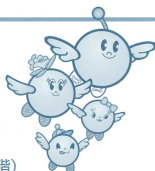
の支援テーマのもと、様々な復興や被災者の支援活動を通して、避難者や支援団体同士のネットワークの構築、専門分野のノウハウの移転や支援の担い手の育成など、次のステップにつながる幅広い取組が展開されています。

このたび、「ふるさと・きずな維持・再生支援事業」により実施された復興支援・被災者支援等の活動について広く紹介するとともに、NPO法人等の運営力の強化に資する他のモデルとなる先駆的取組のノウハウ移転を図るため成果報告交流会（3月12日（水）・郡山市ビッグアイ）を開催することとなりました。NPO等の運営力強化を通じた復興支援事業の成果普及により復興支援や被災者支援の継続的な取組が促進され、NPO法人等の得意分野を生かした活躍の場がますます広がることを期待しています。

参加
無料

福島県地域づくり総合支援事業 (ふるさと・きずな維持・再生支援事業) 成果報告交流会を実施します。

- 日 時 平成26年3月12日（水）10時30分～17時
- 会 場 ビッグアイ市民交流プラザ 大会議室1・2（ビッグアイ7階）
- 内 容 ①全体シンポジウム ②各分科会での事例発表を兼ねたパネルディスカッション
③分科会の報告・まとめ
どなたでも参加できますので、多くの御参加をお待ちしております。



“いまを駆ける”

NPO法人 ボネール

伊達市

大きなハートに四つ葉のクローバーがデザインされたシンボルマークのNPO法人ボネールを訪ねてみました。

ボネールとは、フランス語で「しあわせ」という意味を持つそうです。障がいを持つ方が日中活動の場として就労へ向けての仕事と生活訓練を行う「福祉ハウスボネール」を運営し、社会的自立、地域社会への理解が広まっていくことを目標に活動しています。

活動内容として、食堂事業、受託事業（クローネコメール便、ふれあいセンター清掃）、自主製品づくり（刺し子、エコラフト等）を行っています。

接客、会計、食器洗いなどの作業を通所者自らが行う食堂「楽らく亭」では、豆、おから、野菜中心のヘルシー定食がおすすめです。阿部所長は、仕事の幅が広い食堂事業で接客までを行うことで、通所者自らの対話する力・自分の意見が言える力を育み、就労に向けての力をつけていきたいと語ります。

現在、会員数約200名を超える「福祉ハウスボネールを支える会」では、春のボネールまつり、秋にはチャリティーコンサートと楽しいイベントを実施しております。



▲食堂「楽らく亭」です！



▲ハイ、チーズ！

“いまを駆ける”では、福島県内で元気にとり組んでいる地域活動団体のようをご紹介します。

福島県会津市民生活支援センター

会津若松市

復興・再生へと向かう福島県において、会津地域から元気を発信しようと「福島県会津市民生活支援センター」を発足し、今年3月には認証を受ける予定になっております。

事業内容としては、高齢者や生活弱者の方々が生涯を通じて安心して生活が出来ることが大切と考え、さまざまな支援事業を実施しております。

主な事業として、①センサーを使用した24時間見守りサービス、②生活サービスサポート、③身元保証サポート、④成年後見サポート、⑤死後事務委任契約に基づく葬儀サポート、⑥埋葬・納骨サポートなどです。現在、福島県全域に事業展開しようと日々奮闘しております。

専務理事の小山さんは、各地域のNPOや事業者と手を結ぶこと、なによりも地元密着のサービスを元気なシニア世代のボランティアの方々と協働をすることで地域の活性化を図っていきたいと語ります。

今年4月には、会津若松市役所近くに新事務所を構え、会津地域の中間支援の一翼を担いたいと視野を広げております。多方面に活動範囲が広がる中、現在、共に活動を行っていくNPOを大募集だそうです。



▲丁寧な応対でお待ちしております！



▲お伝えするのは、まごころです

Future From Fukushima.

～中・長期的な復興・被災者支援の継続を目指して～

「カフェ野馬土を活用した地域活性化事業」紹介 相馬市

「カフェ野馬土」

浜通り地方を南北に縦断する陸前浜街道と呼ばれる国道6号線沿いに、「野馬土カフェ」があり、NPO法人野馬土が運営しております。木材をふんだんに使用した建物の軒先には、野馬土プロジェクトの木彫シンボルマークが印象的です。キッチンも備えたコミュニティカフェは、地域の人たちが気軽に集える交流の拠点となっております。

「野馬土とは」

野馬土プロジェクトは、「福島の被災農家を支えよう」「相馬に復興の歯を築こう」と集まった大勢の人たちの努力によって誕生しました。日本だけでなく、フランス、イギリスの財団からの支援も受けてきました。

「野馬土」の3文字には、たくさんの思いが込められています。「野馬土」は、野馬追の相馬の大地。ノマドは、荒野を駆け回る遊牧の民。「野馬」は、世界に開かれたウィンドーです。なによりも「相馬のつながり広場」であり、「みんなで創る広場」、「命をつなぐ広場」でありたいと思います。

「福島第1原発20km圏内ツアー」

東京電力福島第1原発事故によって、住民の居住が制限されている南相馬小高区、浪江町沿岸部を中心に、地域の現状を知るツアー



▲「カフェ野馬土」！



▲新鮮な野菜がいっぱい！



▲歌や踊りの楽しみなステージ！



▲20km圏内ツアーの様子

復興・再生に向けて、高い運営力を有するNPO等の育成が期待されています。現在、おこなわれている福島県地域づくり総合支援事業（ふるさと・きずな維持・再生支援事業）の活動のようをお伝えします。

を実施しております。京都、北海道などをはじめとして県外からも多くの申込者があります。

当初、県内の人からの申し込みは少なかったと言いますが、徐々に、ふるさとを現状を見たいと希望する人も出るそうです。

ワークショップや様々なイベントを開催！

設立時から関わってきたNPO法人有形デザイン機構（東京都新宿区）との協働でさまざまなイベントを実施しております。

昨年の夏には、「野馬土こどもまつり」を行い、うちとおを子どもたちと一緒に制作しました。昨年12月には、カフェの隣にある直売所のオープン1周年を記念して、「野馬土こどもまつり」を実施しました。野馬土カフェでも子供も楽しめる「ぬかワークショップ」を開催しました。おいしいぬかクッキーをつくり、多くの子どもたちでにぎわいました。

自然エネルギーの活用！！

鹿狼山を眺めることのできる日当たりの良さを活かして、カフェ野馬土のほか、直売所や浜通り農産物供給センター倉庫の屋根に太陽光発電パネルを設置しています。代表理事の三浦さんは、復興特区での利点を活用して、原発事故の被害を受け耕作不可能となった農地を太陽光発電用地として活用する事業を推進したいと語ります。

チャレンジ! 助成金情報

これからでも申し込みできる助成金情報です。
内容は抜粋していますので、詳細については、
実施団体やホームページでご確認ください。



これからでも間に合う助成金情報

◆まちづくり支援

名称・支援元	平成26年度「街なか再生助成金」： 公益財団法人区画整理促進機構
対象事業	街なかの再生に寄与する土地区画整理事業等 の市街地整備を推進する初動期の取組み等
申込期間	平成26年2月1日～平成26年3月31日まで
上限金額	1件あたり100万円を限度（4～5件程度）
参考URL	http://www.sokusin.or.jp/machinaka/ subsidy/26/26leaflet.pdf

◆伝統文化財支援

名称・支援元	平成26年度伝統文化財の保存等に対する助成： 公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団
対象事業	伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能及び行事 などに対する補助的な援助
申込期間	平成26年2月1日から平成26年3月31日まで
上限金額	補助的な援助を実施することを前提に1件あたり、 30万円から200万円程度
参考URL	http://www.polaculture.or.jp/promotion/ joyoseiapply.html

◆東日本大震災支援

名称・支援元	「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」 助成事業：社会福祉法人中央共同募金会
対象事業	被災地をはじめ全国で、東日本大震災で被災さ れた方々への救援・支援活動を現に行うボラン ティアグループ、NPO法人、社会福祉法人、学 校法人、公益法人等の非営利団体を対象。
申込期間	（第1次）2014年5月12日（月）～2014年 5月27日（火）※当日必着
上限金額	短期活動：50万円以内、中長期活動：300万 円以内など（第3次を参考）
参考URL	http://www.akaihane.or.jp/er/p6.html

◆文化・スポーツ支援

名称・支援元	平成26年度助成金（後期）： 公益財団法人ヨネックススポーツ振興財団
対象事業	青少年スポーツの振興に関する事業等（対象 期間：平成26年10月～平成27年3月）
申込期間	平成26年6月30日（当日消印有効）
上限金額	指定の期間に予定する一つの事業予算の2分 の1で概ね100万円以内
参考URL	http://www.yonex.co.jp/pdf/joseikin_201 4_01.pdf

名称・支援元	文化・スポーツ活動に対する助成事業： 公益財団法人東邦銀行教育・文化財団
対象事業	文化活動（県内文化団体）、スポーツ活動（県 内スポーツ団体）他
申込期間	平成26年5月1日～6月30日
上限金額	10万円あるいは20万円のいずれかの金額 （他要件あり）
参考URL	http://www.tohobank.co.jp/company/csr/ josei.html

◆その他

名称・支援元	第26回地域福祉を支援する「わかば基金」 平成26年度： 社会福祉法人NHK厚生文化事業団
対象事業	支援部門、リサイクルパソコン部門、東日本 大震災復興支援部門を行うボランティアグルー プやNPO法人の活動
申込期間	平成26年2月1日（土曜日）から 3月31日（月曜日）まで
上限金額	1グループにつき、最高100万円他
参考URL	http://www.npwo.or.jp/info/2014/26.html

参加
無料

「NPO経営基礎講座&相談会」実施のご案内

開催日時
会場

3月17日（月）[伊達市]保原中央公民館
3月20日（木）[南会津町]中央公民館
※講座時間はすべて（13:00～16:30）です。

講師

星野 珙二さん
藤田真由美さん（福島県文化振興課）



皆さんの参加をお待ちしております!!
詳しくは「ふくしま地域活動団体サポートセンター」まで!

お役立ち 情報

権限移譲市町のご紹介! ～身近な窓口で受け付けできるの!?～

NPO法人設立の認証申請ほか、主な手続きが、下記の5市町では、市町村窓口で受け付け出来ることをご存じですか?

福島県内の法人格を取得したNPO法人数は、779を数え(平成26年1月31日現在)、様々な分野(福祉、教育・文化、まちづくり、環境、国際協力など)で、社会の多様化したニーズに応える活動を展開しています。

NPO法人は、設立に始まり、事業報告書、変更の届出ほか、さまざまな事務手続きがありますので、事務所の所在地によっては近くの窓口で手続きができるのは知っておくといいですね。



●窓口が設置されている市町(平成24年4月1日現在)

いわき市のみに事務所を置く法人
いわき市民協働課
電話:0246-22-7414 FAX:0246-22-7609
白河市のみに事務所を置く法人
白河市地域支援課
電話:0248-22-1111 FAX:0248-24-1844
二本松市のみに事務所を置く法人
二本松市企画財政課
電話:0243-55-5090 FAX:0243-22-7023
会津坂下町のみに事務所を置く法人
会津坂下町政策企画班
電話:0242-84-1504 FAX:0242-83-1361
会津美里町のみに事務所を置く法人
会津美里町まちづくり政策課
電話:0242-55-1171 FAX:0242-55-1139

※詳細に関しては、直接市町にお尋ねください

※上記5市町以外の市町村に事務所を置く法人や福島県内で2以上の市町村に事務所を置く法人は福島県文化振興課になります。

※「事務所」とは、法人の定款に記載され、かつ登記されたものを指します。

権限移譲について

福島県では、市町村の実情に応じた柔軟な権限移譲を行うため、2006年(平成18年)度から「オーダーメイド権限移譲」に取り組んでおり、2011年(平成23年)4月より、特定非営利活動促進法に係る事務の権限を移譲しています。

今後も、希望する市町村に対する権限移譲が行われますので、関係手続きの窓口が設置される市町村は、今後も増加する見込みです。

～会津若松市、郡山市の皆さんにご案内です!!～

平成26年4月1日から、これまで県が行っていたNPO法人の申請・届出窓口が追加され、会津若松市、郡山市に委譲されます。(詳しくは同市にお問合せ下さい)

サインペンを プレゼントします!

株式会社メイションスマートウエディング様(東京都)より、福島県内の活動団体に活用してほしいとサインペンの寄贈を受けました。

ご希望の方にプレゼントいたします。
まずは、お電話にてお問合せ下さい。



ふくしま地域活動団体サポートセンター

運営受託：認定特定非営利活動法人ふくしまNPOネットワークセンター

〒960-8043

福島県福島市中町8番2号 福島県自治会館7階

TEL: 024-521-7333

FAX: 024-523-2741

E-Mail: saposen@f-npo.jp

URL: www.f-npo.jp/saposen/



QRコードから携帯サイトを
ご覧いただけます。



編集後記

- みなさんの真摯なお顔に支えられてここまで来しました。あと、ひと踏ん張りです。(丹治)
- 桃始笑。県内で様々な方面においてご活動している団体のさらなるご活躍を期待します。(I)
- 気がつくのと、冬至から早くも三か月近くで書彼岸。また三か月で夏至。(J)
- はじめてになります。仕事を通して自分も成長できたと思います! よろしくお願ひします。(酒)
- ままにならない環境変化と異なる個性を味わい、絆を強くベストを尽くす(平)
- 来年度も皆様のお役に立つように、緑の下の方持ちに徹します。(K)
- 苦しくてもがいても春は来る。常に前向きに、明るい音に向かって! (M)